

「日本遺産 (Japan Heritage)」とは、

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語る物語 (ストーリー) を、文化庁が認定する制度です。

これは、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化と地域ブランドの再確認を目的としています。



『300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊』

着物の代表的な生地である「丹後ちりめん」をはじめ、ちりめん街道 (与謝野町)、天橋立 (宮津市)、金刀比羅神社 (京丹後市) など、48件の文化財により構成されたストーリー「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」が、2017年4月に「日本遺産」の認定を受けました。



江戸時代 享保5年 (1720年)、苦学を重ねた絹屋佐平治によって織り出された丹後の織物は、今も着物生地全体の6割を占める代表的な和装用白生地です。その街並みとともに、今日まで脈々と受け継がれ、友禅染め、型染、繡い、金彩工芸など、あらゆる染色技法も、この白生地があればこそ、繁栄し発達してきました。

丹後の織物が、創業300年を迎える2020年のその後にも、京都を代表する伝統産品として存在価値が高められ、また新たな時代にも生き生きと輝きますよう私どもも貢献して参りたいと考えております。

株式会社 伊と幸
代表取締役 北川 幸